

まいばら協働事業提案制度 平成27年度提案事業 審査結果

整理番号	事業名	事業内容	審査結果	講評	条件
	団体名				
	担当課				
1	柏原地区古民家活用サポート事業	空き家、古民家を、地域の賑わいや活性化の拠点として活用するためのモデル事業を柏原区で実施する。古民家の改修や修理をワークショップ形式で行い、住居ではなくコミュニティスペースとしての活用を地元参加型で一緒に行う。併せて古民家の活用の提案やサポートを行う。	採択	今後も安定した事業となるよう、スタッフの増員や体制強化を行ってください。地域の活性化を図るために、多様な方が参画できる仕組みを期待します。また、同地域を活動拠点とされている「はびろネット」との連携により、更なる活動の広がりを期待します。	—
	未来へつなぐ古民家活用サポーターズ				
	山東自治振興課				
2	東西東西プロジェクト	東西文化の分岐点という特性を活かし、この地域の文化力を再認識・再評価することで地域活性化を目指す。今回のテーマは「方言と食文化」とし、東西比較を中心に事業展開を図り、特に次代を担う子どもたちの交流と教育的効果への波及を目指す。	採択	昨年度の成果物である冊子は素晴らしい取組です。広がりを作るためにもこのような情報を共有できるようにお願いします。東西文化、学校文化の交流が途切れないよう、継続した活動を期待します。また、同地域を活動拠点とされている「未来へつなぐ古民家活用サポーターズ」との連携により、更なる活動の広がりを期待します。	—
	はびろネット				
	山東自治振興課				
3	米原ファミリーアートフェスタ	未来を担う子どもたちが将来の夢を育むことができる環境づくりとして、心の育成を行うための伝統・文化・芸術を学ぶ子ども向けフォーラムを開催する。絵画、生け花、木工教室など多様な講座を用意し、家族で参加いただくことで家族間での知識や話題の共有を図る。	不採択	個別の講座は既に継続的に実施されており十分な成果を上げられています。それをどのように協働に結びつけるのか、協働の意義やテーマ設定、目的を明確にする必要があります。今回の内容について、参加する立場となって考えると分かりづらい内容になっています。そのため、今年実施する事業を着実に実行いただき、ターゲットや協働の必要性について整理していただく必要があります。	—
	米原ファミリーアートフェスタ実行委員会				
	政策推進課				
4	マイクリング・プロジェクト	スポーツを通じたまちづくりを進めるため、誰でも取り組めるサイクリングに焦点を当て、米原らしいサイクリングスタイルをマイクリングと名付けて自転車生活を楽しむ文化を醸成する。観光資源を線で結ぶイベントの開催やサイクリングコースの作成、参加者間のコミュニケーションを行う。	採択	道路交通法が変わり心配していたが実施状況を見て安心しています。今後も計画書にあるように複数の関係部署と連携を図ってください。また、スポーツとしての楽しみ方のほかに、日常的に自転車を楽しむという観点も大切にしてください。可能であれば、走行中に危険箇所などの課題を発見した場合は、解決につながるように関連部署に情報提供いただければと思います。	—
	マイクリング・プロジェクトチーム				
	生涯学習課				

整理番号	事業名	事業内容	審査結果	講評	条件
	団体名				
	担当課				
5	子どもの居場所づくり	放課後児童クラブのニーズが高まるなか、米原区にある古民家を改装して放課後に子どもを見守る施設を設立し、子どもの居場所づくりを行う。地域で子どもを育てるモデルとして他地域へ波及させる。また、米原緑地公園でプレイパークを開催する。	三者協議の結果 取り下げ	団体・市の双方の思いの上でこれを協働で実施していくとするのであれば、どのように発展していくのか計画に落とし込んでいただきたい。当事業の必要性は分かるが、協働事業提案制度が馴染むかどうかを再検討してください。また、当事業の拠点が借家ということから、継続性を考えると拠点整備に係る改修費や備品購入費について、再度、三者協議を行い整理してください。	三者協議を行い、改修費や備品購入費、支援制度について整理すること。
	わっか				
	子育て支援課				
6	米原おもてなし事業応援隊	商工観光振興を行政だけに任せるのではなく、市民も積極的に参画し、関連機関と連携を図りながら、オール米原でおもてなしに力を入れて米原ブランドを盛り上げていく。1年目は店舗を営業されている方や広く市民が情報を発信するポータルブログの開設を行う。また、ブログへの情報発信の講座なども開催するとともに、「オリテまいばら」と連動した事業を実施する。	不採択	ブログの事業が核となっているため、この事業がしっかりしていないと他が有効に機能しないように思えます。目的であるおもてなし力を養うための手段がミスマッチに感じられます。例えば既存のツールを利活用する方法も考えられます。また協働性や継続性の観点からも内容を整理する必要が感じられますので、今回は不採択とします。	—
	米原おもてなし事業応援隊				
	商工観光課				
7	ゆっくりマルシェ	米原ならではの強みを生かし、持続可能なライフスタイルの素晴らしさに気付く機会の場を作る。環境啓発に係るフォーラムのほか、市民同士の交流拠点となることを設置目的に掲げるルッチェプラザ1階ロビーにおいて、定期的にマルシェを開催する。市民の環境指向、健康志向の高まり、市民ネットワークの向上を目指す。	採択	市民活動団体同士のネットワーク形成やまちづくりに参画するきっかけにもつながる事業です。また、スローシティーなイメージを発信することで移住定住に促進につながることを期待します。他のマルシェとの違い、協働することの意味を明確にしてください。	—
	YUKKURI米原				
	環境保全課				